

ハーブ類の即時型アレルギー抑制活性の評価

技術の特徴

- ・ハーブ類抽出物についてマスト細胞(RBL-2H3細胞)の抗原特異的脱顆粒の阻害活性を検討したところ、一部のハーブに活性が認められた。即時型アレルギー反応はマスト細胞の抗原特異的脱顆粒によって放出されるケミカルメディエーターにより引き起こされることから、これらのハーブには即時型アレルギーを抑制する効能が期待される。
- ・また、収穫時期により、抑制活性の強さが変動するハーブがあることを明らかにした。

研究の内容

国産で消費量が多く、年間を通じて供給されているハーブ類(11種)を異なる時期に収穫

酢酸酸性メタノールによる抽出

- ・マスト細胞(RBL-2H3)を用い、抗原特異的脱顆粒に対する効果を調べる

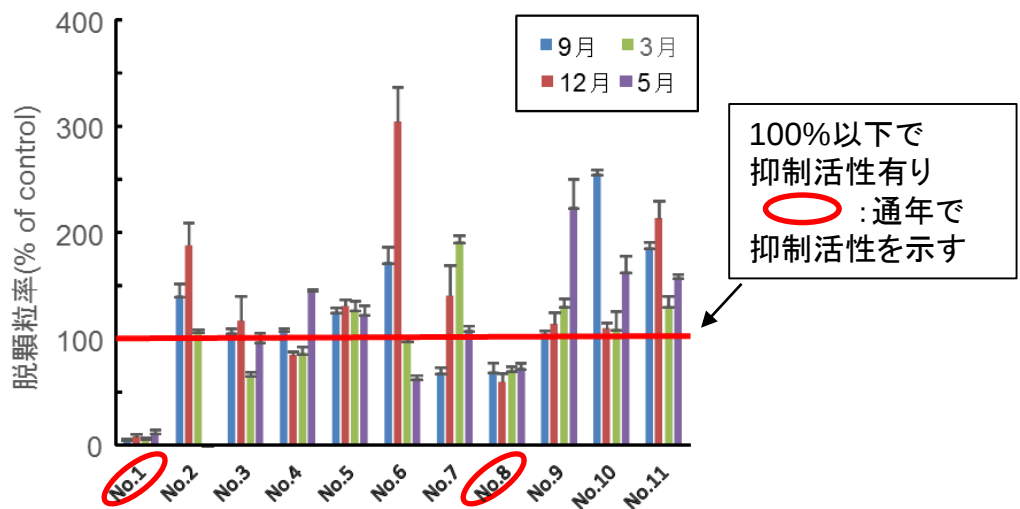


図 収穫時期の異なるハーブ類の即時型アレルギー抑制

- ・ハーブの種類によって抗アレルギー活性の強さは異なる。
- ・また、活性の強さが、通年で安定している種(図中 No.1,8)もあれば、収穫時期によって大きく変動する種(No.6)も存在した。

今後の展開

- ・アレルギーモデル動物に投与して、動物レベルでの抑制効果を確認する。
- ・主要な抗アレルギー活性成分を同定する。